



館岩自然の教室

校長 五十嵐 圭一

立春の候、保護者、地域の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、2年生は、1月25日(土)から27日(月)の2泊3日の日程で、福島県南会津郡南会津町(旧館岩村)にある、さいたま市立館岩少年自然の家にて自然の教室を実施しました。今年の館岩は、暖冬の影響で、自然の家周辺の積雪量がわずか25cmあまり、また幹線道路に雪がないなど、近年まれにみる雪の少ない状況でした。幸い、たかつえスキー場は滑走可能なうえに好天にも恵まれ、生徒たちは存分にスキーを堪能することができました。



【たかつえスキー場でのスキー実習】

館岩自然の教室などの泊を伴う体験活動は、平素と違う環境の中で自然に親しむことなどを通して、集団生活の在り方を学び、連帯感をはぐくむ活動として大変教育的意義の高い活動です。生徒たちの感想からも、「3日間を終え、協力のできるような人へと変わった気がします。これからの生活で協力する場面があると思うので、協力していきたいと思います。」「2泊3日でこんなに滑れるとは思いませんでした。スキーそして自然の家での生活はとても充実したものになりました。インストラクターの方々や、実行委員の人たちに感謝したいです。」「クラスの仲間のいろいろな面を知ることができ、親交が深まりました。」など、その活動が充実していたことが伺えます。2年生の生徒たちには、今回の成果を今後の学校生活に生かし、さらに充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

ところで、館岩少年自然の家の歴史は古く、約39年前までさかのぼります。旧大宮市立少年自然の家として昭和56年に開設され、以来自然体験活動の拠点として、多くの児童生徒が活動してきました。開設当時は東北自動車道等が十分に整備されておらず、自然の家まで、日光、五十里湖経由で5時間以上かかりました。近くには桧枝岐(ひのえまた)温泉や尾瀬沼、たかつえスキー場など、多くの観光地等もあり、さいたま市からやや時間はかかるものの豊かな自然体験活動に取り組むことができます。平成30年5月には、新しい宿泊棟「からまつ館」もオープンしました。

令和元年度も残り2ヶ月余り、とりわけ2月は、3年生にとって、2月28日(金)に行われる県公立高校学力検査に向けての大切な準備期間です。体調管理をしっかりと行い、目標の実現に向け全力を尽くしてほしいと思います。